

中区

将来ビジョン
2028

いつまでも輝きつづける中区をめざして



■ 区長あいさつ ■

中区は明治41年に名古屋市の区制施行により誕生し、名古屋の中心地として発展を続けてきました。

中区のまちは慶長17年（1612年）の名古屋城築城に伴う大移転事業、いわゆる清須越により碁盤の目のように整備された城下町に端を発し、区内には歴史的建造物が各所に点在し、祭りや山車、からくり人形、和菓子文化など、多くの歴史的・文化的な魅力であふれています。

近年は、民間再開発が活発化しており、大規模な商業施設や宿泊施設、オフィススペースなどが供給されることで、新たな人の流れやまちのイメージの変化が予想されます。

これからも、名古屋における政治・経済・歴史・文化の中心地として「いつまでも輝きつづける中区をめざして」区政運営に取り組んでまいります。

令和6年5月 名古屋市中区長

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



平成27年の国連サミットにおいて、持続可能な開発目標（SDGs）を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。SDGsは「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現をめざす世界共通の目標（17の目標）であり、地域の持続的な発展にとっても大変重要な目標です。

中区においても本ビジョンにSDGsの要素をしっかりと反映し、達成に率先して取り組むこととしており、各施策を推進することで達成に寄与するSDGsのゴール（目標）を示すアイコンを掲載しています。

■ 目 次 ■

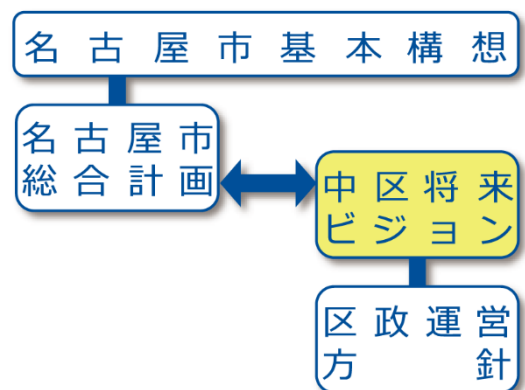
	ページ
■ 中区将来ビジョンについて・・・・・・・・・・・・・・・・	1
■ 中区－名古屋の歴史・文化の中心地－・・・・・・・・	2
■ 区の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	3
■ 区の特性と課題・・・・・・・・・・・・・・・・	4
■ 区の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・	7
■ 施策1～16・・・・・・・・・・・・・・・・	8
■ 中区に関する本市の主な計画・・・・・・・・	16

中区将来ビジョンについて

■ 概 要

「中区将来ビジョン」は、名古屋市が策定する「名古屋市総合計画」にあわせて中区が策定する中長期の将来計画です。

「中区将来ビジョン」で掲げた「まちの姿」を実現するために取り組む具体的な事業内容については、毎年度策定する「区政運営方針」に掲載し進捗管理を行います。



■ 計画期間

令和6年度～令和10年度

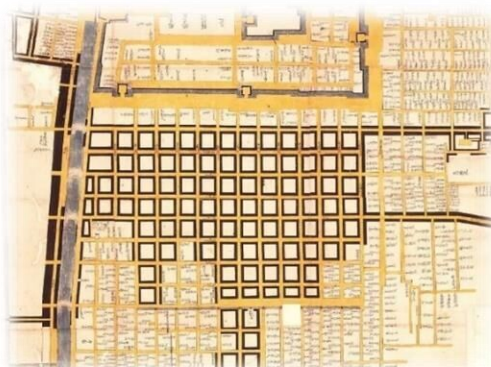
中区－名古屋の歴史・文化の中心地－

慶長5年（1600年）、関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康が、尾張の中心地をそれまでの清須から那古野（名古屋）に移すことを決定し、慶長17年（1612年）には名古屋城がほぼ完成しました。

築城に伴い、武家、町家、寺社、橋梁に至るまで、清須のまちすべてを名古屋に引越しさせる大移転事業、いわゆる「清須越」が敢行され、名古屋の城下町は碁盤の目のように区画されました。現在の中区においても碁盤の目の街区をみることができます。



名古屋城



万治年間名古屋絵図（名古屋城振興協会蔵）



堀川（旧加藤商会ビルと納屋橋）



若宮まつり 山車（福祿寿車）

中区内には、寺社や文化財など歴史的建造物が各所に点在しているほか、「祭り」や「山車」、「からくり人形」、伝統産業「名古屋仏壇」、「和菓子文化」など、多くの歴史的・文化的な魅力があり、名古屋における歴史・文化の中心地といえます。

中区の西側を流れる堀川は、慶長15年（1610年）名古屋城の築城と時をほぼ同じくして福島正則により開削されたと伝えられており、江戸時代から昭和中頃までは、物流の大動脈として市民の生活やまちの発展を支えるとともに、花見の名所など多くの人々に親しまれる憩いの場でもありました。堀川沿川では歴史的建造物が随所に残されており、堀川文化（名古屋城築城以来約400年間にわたり堀川と本町通によって育まれてきた文化）にふれることができます。



からくり人形（信長）

区 の 概 要

沿革

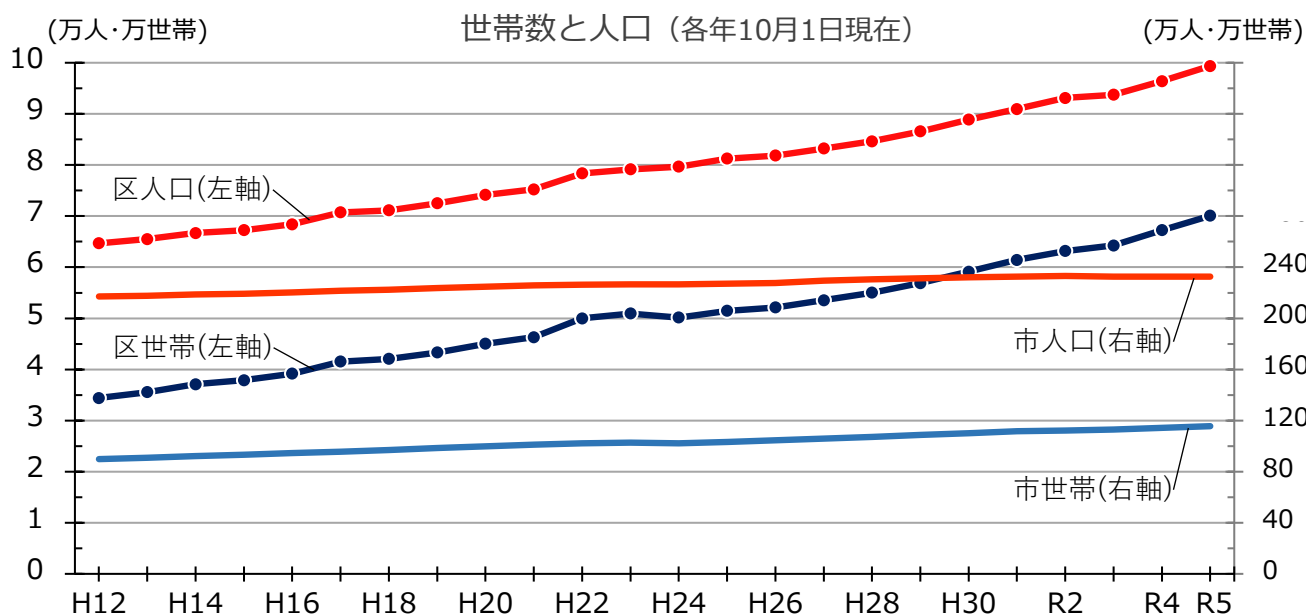
明治22年（1889年）10月 1 日 市制町村制により「名古屋市」誕生
 明治41年（1908年）4 月 1 日 4区制実施により「中区」誕生
 昭和12年（1937年）10月 1 日 10区制実施により区域を変更
 昭和19年（1944年）2 月11日 13区制実施により区域を分割し一部が栄区となる
 昭和20年（1945年）11月 3 日 12区制実施により栄区を中区へ合併
 平成20年（2008年）4 月 1 日 区制100周年

面積と人口密度

令和6年3月1日現在 面積9.38km²（16区で3番目に小さい）
 人口密度10,676人/km²（16区で2番目に高い）

世帯数と人口

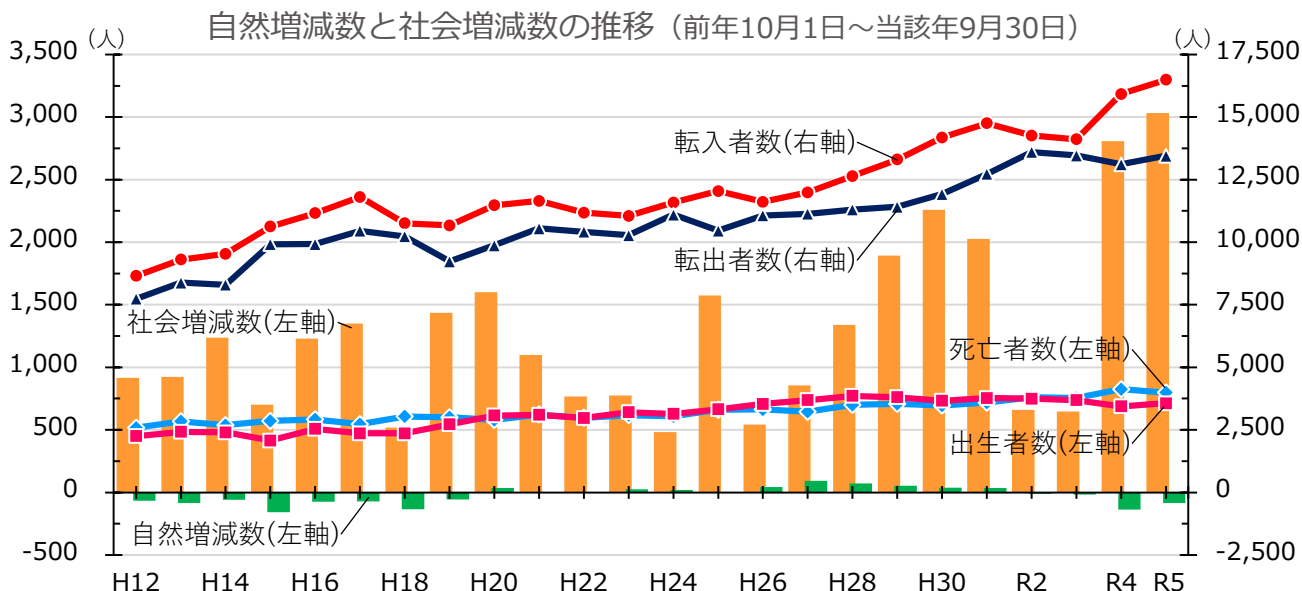
令和6年3月1日現在 70,813世帯 100,139人



中区の世帯数と人口は増加を続けており、平成12年から世帯数は約2倍、人口は約1.5倍となっており、名古屋市全体（世帯数約1.3倍、人口約1.1倍）と比較しても増加割合が大きくなっています。

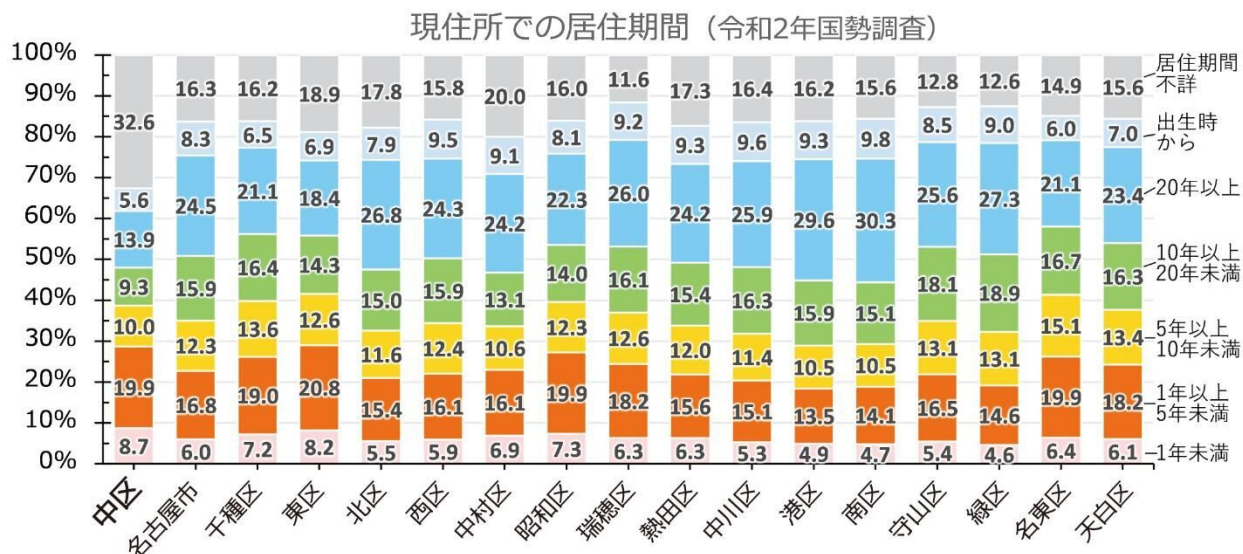
区の特徴と課題

社会増が続いており自然増減はほぼ横ばい



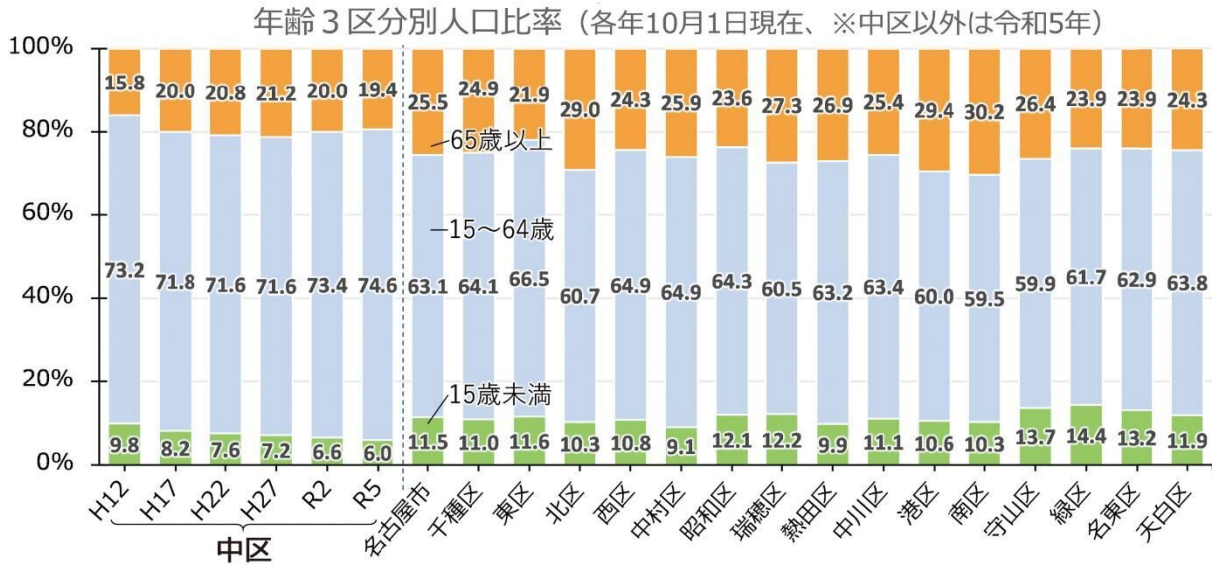
中区は転入者、転出者ともに増加傾向にあり、20年以上常に転入超過となっており社会増が続いています。一方、出生者数と死亡者数はともに微増していますが、自然増減はほぼ横ばいとなっています。

現住所での居住期間は短め



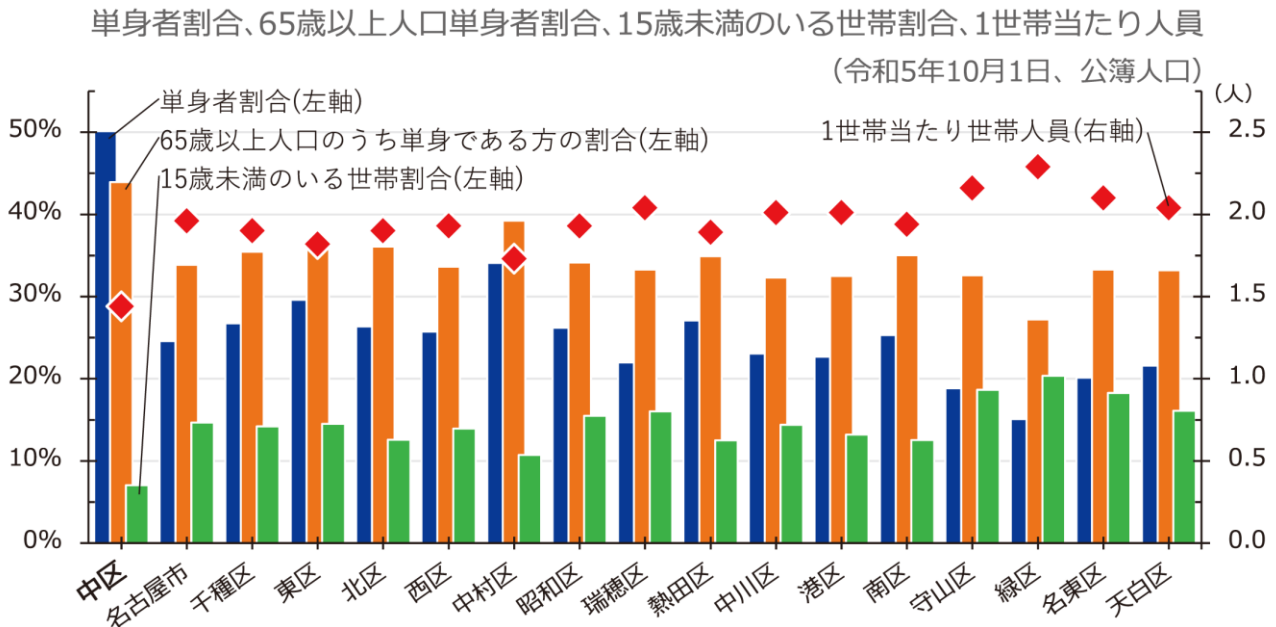
中区に居住している人で現住所での居住期間が「1年未満」の人は8.7%で、16区で最も高くなっています。また、居住期間が「20年以上」の人は13.9%で、16区で最も低くなっています。このことから、中区に長年居住する方は比較的少ないと推測されます。

■他区と異なる人口比率



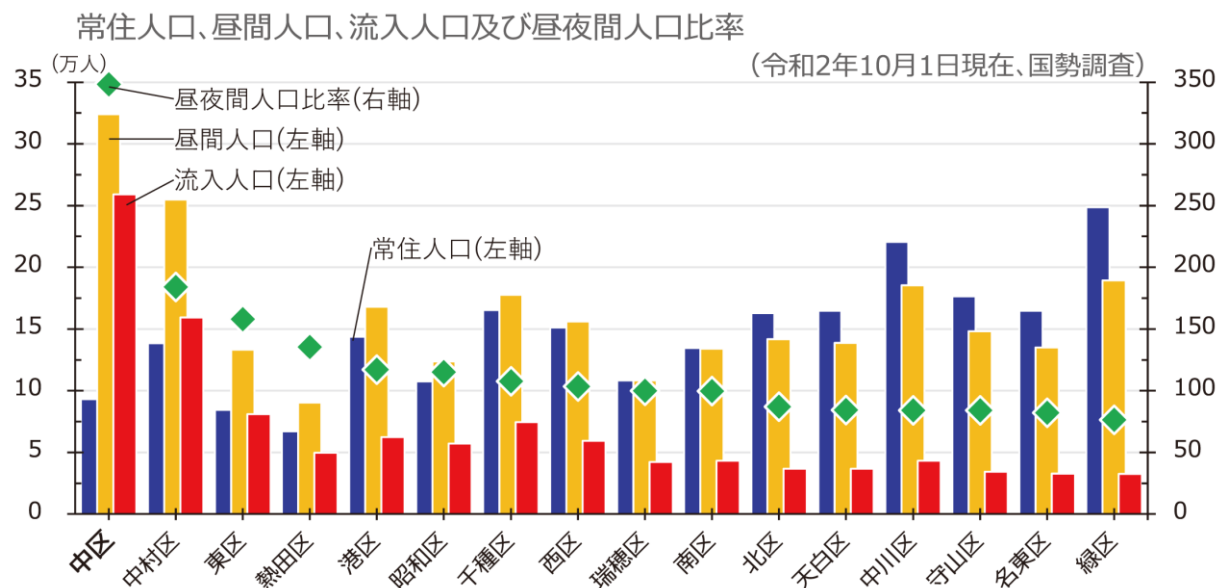
中区の15歳未満人口の割合は6.0%と減少傾向が続いており、16区の中で最も低くなっています。また、65歳以上人口の割合は19.4%で人口の約5人に1人が65歳以上となっていますが、こちらも16区の中では最も低くなっており、15歳から64歳の生産年齢人口は74.6%と16区の中で最も高くなっています。

■単身者割合が高く世帯構成も他区と異なる



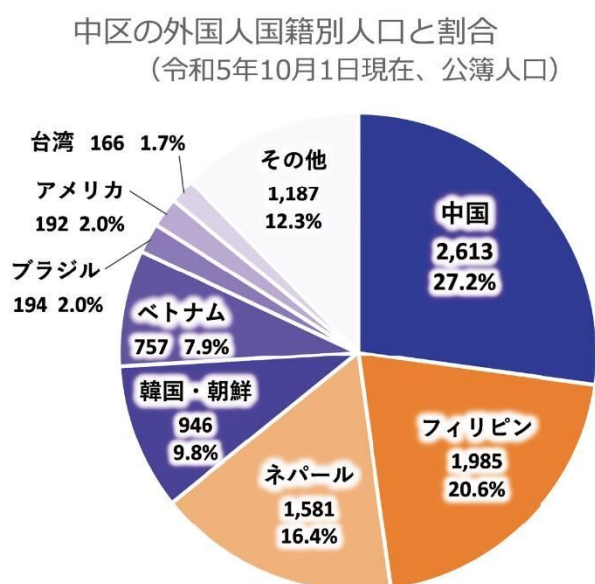
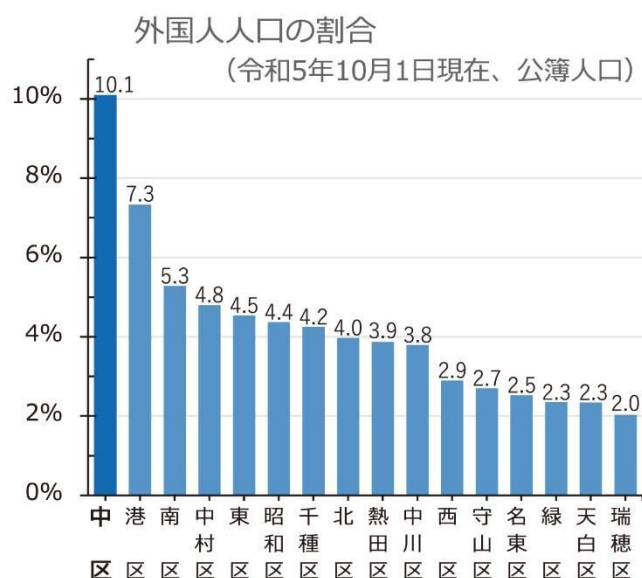
中区の単身者の割合は50.1%で16区でも突出して高くなっています。また、65歳以上人口のうち単身である方の割合は43.9%で16区で最も高くなっています。世帯構成では、1世帯当たり人員は1.44人と16区で最も低く、子ども（15歳未満）のいる世帯の割合も7.0%と16区で最も低くなっています。

■ 高い昼夜間人口比率



中区の昼間人口（従業地・通学地による人口）は常住人口（常住地による人口、いわゆる夜間人口）の3倍以上となっており、16区でも突出しています。また、流入人口（中区に従業・通学しており常住地が中区以外）も常住人口の2倍以上となっています。昼間人口には買い物客や観光客、ビジネス来訪者などは含まれないため、実際に昼間中区にいる人はさらに多いと考えられます。

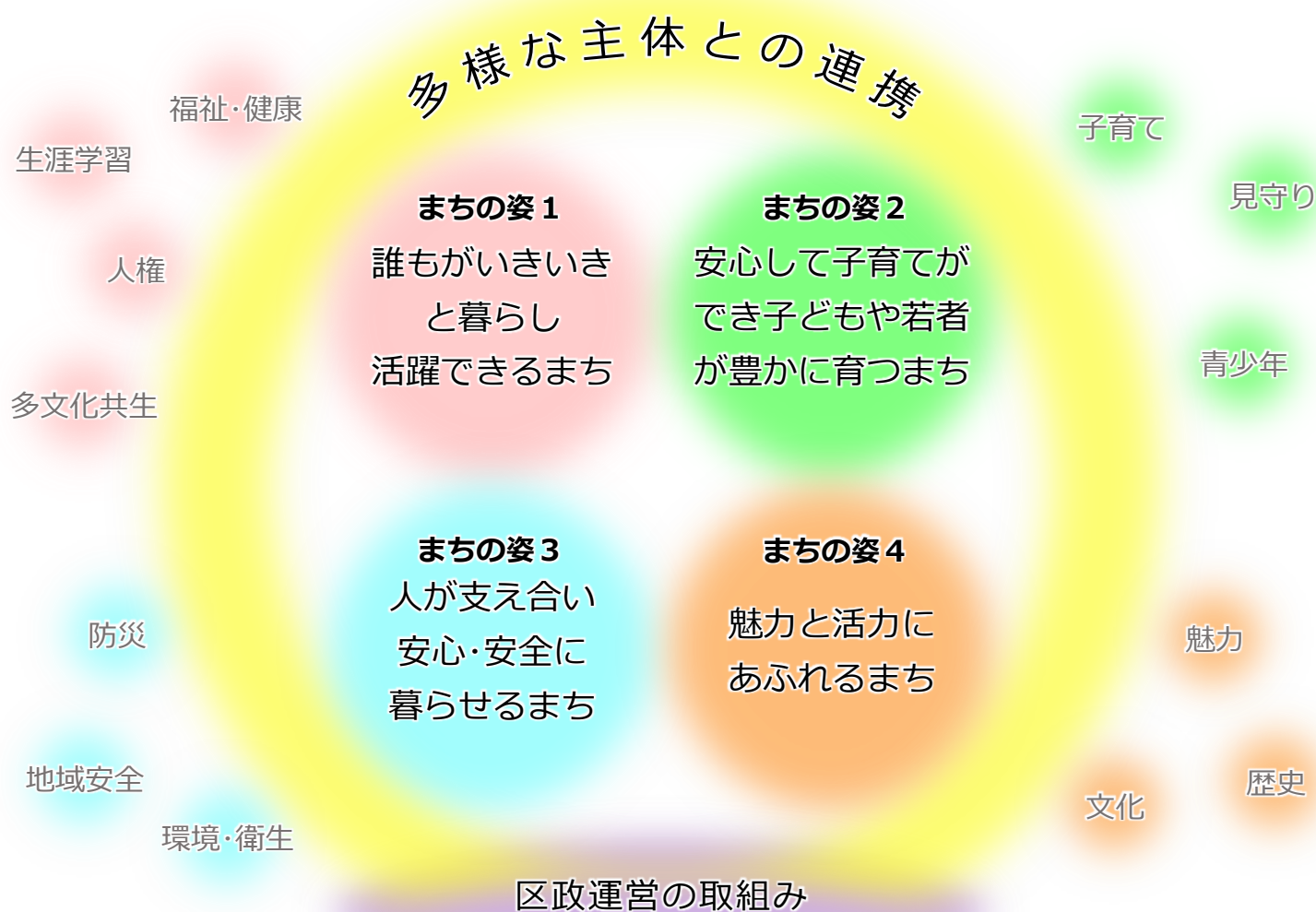
■ 区民の約10人に1人が外国人



中区の外国人人口の割合は10.1%と16区でも突出して高い割合となっています。国籍別では中国、フィリピン、ネパール、韓国・朝鮮、ベトナムで全体の8割以上を占めており、特にフィリピンとネパールの割合は他区よりも高くなっています。

区の将来像

いつまでも輝きつづける中区をめざして



中区では、「いつまでも輝きつづける中区をめざして」、まちづくりの主体である、区民、地域団体、学校、企業・事業者、行政が、それぞれの立場で連携・協力しながら、よりよい地域づくりをめざす「多様な主体との連携」を意識し、4つのまちな姿の実現に向け取り組んでいきます。

次ページ以降に、まちな姿を実現するための施策と主な事業例を掲載しています。

施策 1

生涯にわたる心身両面の健康づくりを支援します

健康で心豊かな生活を送る上で、生涯にわたり健康づくりを実践することは重要な要素です。健康でいきいきとした生活を送るために、歯や口の機能を維持し、食生活や運動の実践などの生活習慣の改善に向け、区民の皆さまの意識向上と情報発信に取り組みます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
健康づくり事業の参加者数	902人	1,200人

- 地域での健康づくりの普及啓発
 - ・ 地域において保健環境委員と協働しフレイル予防リーダーを講師としたフレイル予防教室など健康づくりに関する教室の実施
- 地域の企業等と連携した健康づくり
- 子育て中の保護者が参加しやすい健康教室の実施



健康教室

施策 2

障害者が自立して安心して暮らせるよう支援します

障害者が必要とする情報を提供するとともに、区民の障害に対する理解を深め、地域で自立して安心して暮らせるよう支援します。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
ホームヘルプサービスを利用して地域で生活する障害者の数	304人	460人

- 「中区障害福祉サービスガイドブック」の作成
 - ・ ご自身で事業所を選択できるよう事業所情報を掲載したガイドブックを事業者や団体と協働し作成
- 授産製品の普及・販売促進
- 地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業の推進【再掲:施策3】



なかよしマーケット

施策 3

高齢者が個々の状況に応じて地域で自分らしく安心して暮らせるよう支援します

認知症予防をはじめとした介護予防の取組みの充実をはかるとともに、高齢者が抱える課題に応じた必要な支援を受けながら、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう支援します。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
中区いきいき支援センターの認知度	41.4%	50%

- 地域包括ケアシステムの普及啓発
- 高齢者世帯への支援
 - ・ 民生委員、高齢者福祉相談員や見守り支援員等による訪問活動、一人暮らし高齢者へのあんしん情報キットの配布など
- 地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業の推進
- 認知症サポーター養成講座の開催
- サロン等での介護予防についての支援
- シニアお出かけマップによる情報の発信



介護まつりinなか

施策 4

誰もが意欲を持って働けるよう、就労支援をすすめます

生活保護受給者に対して就労支援をすすめ、自立の促進をはかります。またホームレス等が自立した生活に移行できるよう、生活相談や健康相談などの支援を行います。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
就労支援コーナーを利用し求職活動を行う生活保護受給者の就労開始率	49.6%	55%

- 就労支援に関する自立支援プログラム推進事業
 - ・ 区役所に設置された就労支援コーナーを活用した支援の実施
- ホームレス等の自立支援



就労支援コーナー

施策 5

生涯にわたる学びやスポーツを通じた生きがいをづくりを支援します



第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会に向けた機運が高まるなか、区民の皆さまがスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ大会などを地域や団体、学校などと連携して開催します。また、文化関連事業の開催や、生涯を通して学んだ知識や成果などを活かせるよう、学習機会や情報の提供につとめます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
スポーツ・文化行事への参加者・来場者数	3,153人	4,600人

- スポーツ大会やウォーキングイベントなどの開催
- 生涯スポーツの普及に向けた啓発事業
- 文化関連展覧会や文化行事などの開催



レクリエーションバレーボール大会

施策 6

人権が尊重され差別や偏見がない社会をつくりまします



一人ひとりの人権が尊重された、平和で豊かな地域社会を実現できるよう、人権尊重の理念や重要性についての認識を深め、人権啓発を推進します。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
人権関連事業の参加者数	488人	500人

- 人権尊重のまちづくり事業
 - ・ 人権に対する理解を目的とする啓発事業を実施
- 男女平等参画推進事業
 - ・ 家庭・地域における男女平等参画を進めることを目的とする啓発事業を実施
- 多文化共生関連事業【再掲:施策7】


多文化共生×男女平等参画事業
(親子料理教室)

施策 7



多文化共生をすすめます

区民の約 1 割が外国人である中区において、すべての区民が互いの文化や考え方を認め合い、同じ中区民として安心・安全に暮らせる多文化共生のまちづくりをすすめます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
多文化共生推進関連事業の参加者数	246人	350人

- 多文化共生関連事業
・「中区多文化共生に係る推進指針」による区横断的な取組みを推進
- 多言語ややさしい日本語での情報提供・情報発信
- 外国人向け子育て支援事業【再掲:施策8】
- 多言語通訳者の配置【再掲:施策16】



多文化共生関連事業

安心して子育てができ子どもや若者が豊かに育つまち

まちの姿 2

施策 8



安心して子どもを生み育てられる環境をつくりま

安心して子どもを生み育てることができるよう、妊娠から子育てまでの一体的な支援体制を新たに整備するとともに、地域全体で子育てを支援していくさらなる取組みを行っていきます。また、虐待の早期発見・早期対応、虐待を受けた子どもへの支援に関係機関と連携しながら、子どもを虐待から守る取組みをすすめます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
中保健センターで妊娠中や子育て中の方が相談をすることができること（子育て総合相談窓口）を知っている人の割合	46.8%	70%
なかっこ広場（おやこで一緒に楽しめる子育て広場）の満足度	93.8%	95%以上

- 子育てマップによる相談・支援窓口等の周知
・なかっこ★ねっと（地域、NPO、保育園、関係機関等の連携による子育て支援ネットワーク）が企画・編集する子育てマップを活用した相談・周知
- なかっこ広場・子育て支援講座の開催
- 赤ちゃん訪問事業の実施
- 外国人向け子育て支援事業
- 地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業の推進【再掲:施策3】



なかっこ広場

施策9



子どもや若者が豊かに育つよう支援します

子どもや若者が豊かに育つことができるよう、地域や団体と連携し、地域全体で見守る活動を支援するとともに、子ども同士や地域の人とのふれあいやスポーツ等を通してさまざまな体験をすることにより、豊かな人間性や社会性を身につけられるよう支援します。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
青少年健全育成活動への参加者数	1,689人	2,000人

- 少年スポーツ大会の開催
- 子どもの見守りパトロール
- 成人の日記念式の開催
- 中学生、高校生世代の学習支援事業の実施



少年剣道大会

施策10



防災・減災対策をすすめるとともに、地域防災力の向上を支援します

区民や事業者の皆さま一人ひとりの防災・減災意識向上をはかり、地域・事業者・防災関係機関が連携して防災活動の推進に取り組むなど、地域防災力の向上を支援するとともに、区本部の機能強化及び防災関係機関との連携強化により、災害対応能力の向上を推進します。また、大規模災害発生時の帰宅困難者対策について、事業者や関係機関とともに適切に対応できるよう連携を強化するとともに、啓発や情報提供をすすめます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
地区防災カルテを活用した防災活動に取り組んでいる学区の割合	100%	100%
地域に密着した実践型の自主防災訓練の回数	16回	18回
家庭内において災害に対する備えをしている区民の割合	68.6%	100%

- 地区防災カルテを活用した防災活動の推進
 - ・ 指定避難所開設運営訓練など
- 地域防災マネジメント事業の推進
 - ・ 戸別訪問、家具転倒防止ボランティアの派遣、自主防災組織の結成・活動の支援
- 防災安心まちづくり事業の推進
 - ・ 事業所との連携、防災・減災意識の啓発



総合防災訓練

施策11

犯罪や交通事故のない安心・安全な地域づくりにつとめます

区民の皆さま一人ひとりが防犯・交通安全の意識を高く持ち、犯罪・交通事故の被害にあわないために注意・行動できるよう意識啓発を行うとともに、地域ぐるみで犯罪・交通事故を抑止する環境づくりに取り組みます。

指標	現状 (令和5年)	目標値 (令和10年)
刑法犯認知件数	3,307件	2,600件
年間交通事故死者数	1人	0人

- 生活安全の推進
・ 特殊詐欺対策、自転車盗対策など
- 交通安全の推進
・ 子どもと高齢者、交差点での交通事故防止など
- 安心・安全・快適なまちづくりフェスタの開催



交通安全キャンペーン

施策12

衛生的で快適な環境を確保します

人口が集中する都心で感染症が発生しないよう、また発生した際は健康被害などへの影響を最小限にとどめられるよう感染症対策を推進します。また多くの人々が行き交う中区が美しいまちであるために、地域や事業者、関係機関と協働して快適なまちづくりに取り組みます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
健康危機管理講座の実施・感染症予防編	15回	18回
クリーンキャンペーンの参加者数	1,671人	2,500人

- 健康危機管理講座「感染症予防編」
・ 感染症や食中毒に関する知識の普及啓発
- 犬猫による迷惑防止
- 町を美しくする運動
- 路上禁煙地区指導パトロール



健康危機管理講座

施策13

地域主体のまちづくりをすすめます



地域団体による自主的な活動への支援を行うなど、住民が主体のまちづくりの推進をはかります。また区民会議を開催するなど、地域特性やニーズ把握に努め、まちづくりや魅力づくりを進めます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
地域活動やボランティア活動に参加したいと考える人の割合	66.5%	75%

- 地域コミュニティの交流事業
 - ・地域団体による情報共有や意見交換等を目的とする交流会の開催
- 地域の絆づくり支援事業
 - ・地域団体等が行う、地域のつながりや絆を深める取組みに対する支援
- 地域住民、地域事業者、まちづくり団体等との協働



コミュニティ交流会

施策14

歴史・文化に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します



中区は歴史や文化の魅力があふれるまちであり、名古屋における歴史・文化の中心地といえます。区民の皆さま一人ひとりが中区の歴史・文化をより身近に感じられ、中区のまちを誇りに思っただけのような機会や情報を提供し、中区の魅力を広く発信します。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
中区の歴史・文化・魅力を伝え、発信する事業の参加者数	382人	450人

- 中区のまちの記憶を呼び起こす事業
 - ・過去から現在にいたる中区のまちの記憶を呼び起こし、まちの魅力を発信できるようなイベントや情報発信を実施
- 中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業
- なごやかウォークによる魅力発信



堀川文化歩こう会

施策15

情報発信・情報公開をすすめます



区政への関心を高め、区民の皆さまの声をより区政運営へ反映していくため、区政に関する情報をわかりやすくかつ効果的に伝えられるよう、幅広い情報発信に取り組みます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
区の情報提供に不満を感じる区民の割合	11.1%	7%

- 区の情報発信・魅力発信
・SNSやウェブサイトなどを活用し目的やターゲットに合わせて区の情報や魅力を発信
- 広報なごや紙面、ウェブサイト、パンフレット等の充実
- 中区広報大使の委嘱・活用
- 多言語ややさしい日本語での情報提供・情報発信【再掲:施策7】



中区広報大使(OS☆U)

施策16

区民サービスの向上をすすめます



区民の皆さまにとって便利で快適な区役所をめざし、職員の接遇・ホスピタリティの向上や業務改善などに取り組み、サービスの向上につとめます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
区役所窓口における対応に満足している区民の割合 ※令和6年度よりアンケート方法変更	—	100%

- さわやか市民サービス運動
- 窓口の混雑情報や進捗状況（呼び出し状況）の配信
- 多言語通訳者の配置
- 多文化共生関連事業
[外国人総合案内（コンシェルジュ）の設置]【再掲:施策7】



外国人総合案内

中区に関する本市の主な計画

◆都心部まちづくりビジョン

(住宅都市局リニア関連都心開発部都心まちづくり課)



名古屋の都心は、リニア中央新幹線開業が予定されるなか、名古屋大都市圏の中核としての重要性がこれまで以上に増すこととなります。新たな時代を迎えるにあたり、これからも魅力と活力にあふれた名古屋の都心であるために、そして名古屋大都市圏を超えてスーパー・メガリージョンのセンターとして日本の成長エンジンとなるためには、官民協働によるまちづくりへの取り組みを速やかに進めていくことが必要となります。「都心部まちづくりビジョン」は、行政と民間で共有できる都心部の将来像として、また、都心部を対象として策定された各種のまちづくり計画・構想を総括し全体の方向性を提示したものです。

●栄地区～訪れる人々が心を解き放つ都心のオアシス～

大規模公園をはじめとした公共空間を洗練されたゆとりあるシンボル空間として再生・活用することにより、エリアの賑わいを都心全体に広げます。



エリアごとの様々な特色を活かした多様性のあるまちづくりを進めることにより、名古屋らしさを感じられる都心の魅力を向上します。



民間再開発の機会を捉え、様々な楽しみ方や働き方を提供する商業・娯楽・芸術・文化施設等やオフィス等の都市機能を導入し、多様な人材が集まる環境整備を推進します。



【参照】P18「栄地区グランドビジョン～さかえ魅力向上方針～」

●名城地区 ～歴史と文化に彩られた名古屋のまちづくりの礎～

名古屋のまちづくりの礎たる歴史・文化資産を様々な形でまちづくりに活用することにより、奥行きと多様性のある都市の姿を実現します。



他の拠点との連携を強化することにより、観光拠点の賑わいを都心全体に広げることで、都市の回遊性を向上させます。



●伏見地区 ～職・住・遊のプラットフォーム～

芸術・文化施設、公園の緑や水辺空間、歴史的建造物などによって醸し出される芸術的・文化的な雰囲気を活かしたまちづくりを進めます。



良好な民間再開発の促進により、様々な都市機能と調和した都心居住を実現するとともに、地域住民によるまちづくり活動を支援します。

リノベーションなどにより、意欲ある起業家の創業を促進し、業務機能が集積している従来からの地区の特性をより一層発展させます。

●大須地区 ～下町情緒とポップが交錯する庶民文化の象徴～

大須観音や万松寺などの歴史的な資源と古着屋などの個性的な店舗の集積した商店街の情緒を大切にすることで、都心の魅力に多様性と彩りを添えます。



コスプレやアニメなど「ポップカルチャーの聖地ナゴヤ」としてのブランド確立により、国内外から訪れる誰もが集い楽しめるまちの雰囲気を醸成します。

●金山地区 ～交通拠点から交流拠点へ～

【参照】P19「金山駅北地区の整備の考え方」



◆栄地区グランドビジョン～さかえ魅力向上方針～

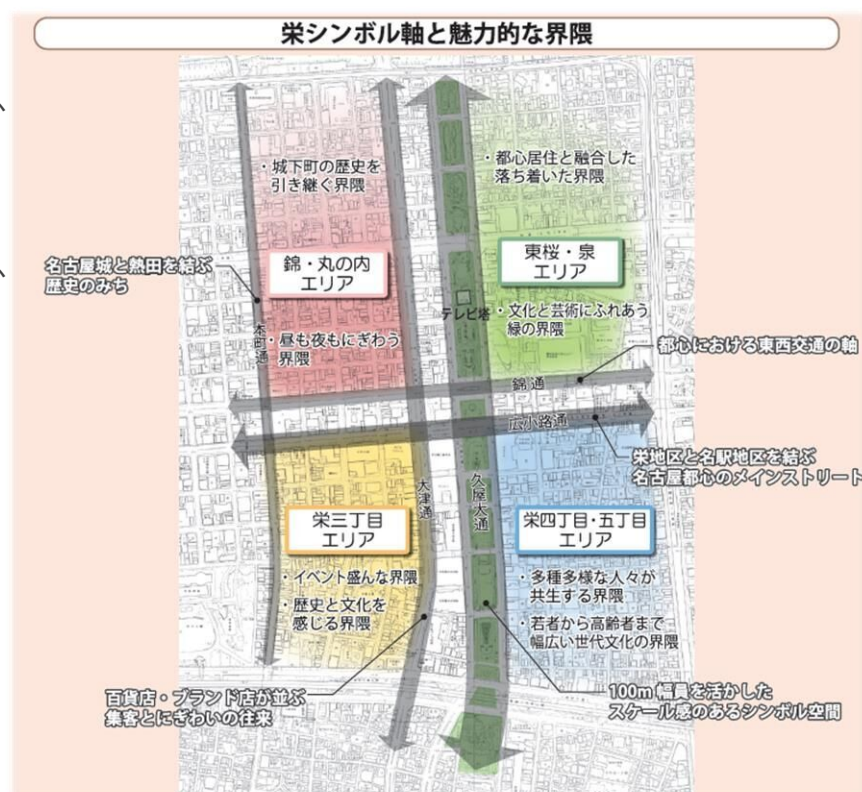
(住宅都市局リニア関連都心開発部都心まちづくり課)



名古屋市では、予定されているリニア中央新幹線の開業を追い風ととらえ、大都市圏の中核となる名古屋都心部の魅力向上をさらに進めることが急務と考えています。名古屋市の都心部は、名古屋駅を中心とした名古屋駅地区と、栄駅を中心とした栄地区とが大きな2つの中心核を形成しており、名古屋駅地区と栄地区が連携あるいは役割を分担し、それぞれ個性を活かした魅力向上を図ることが必要となっています。「栄地区グランドビジョン～さかえ魅力向上方針～」は名古屋市都心部将来構想を踏まえた栄地区のまちづくりを実現するための基本方針となるものです。

●栄地区のまちづくりの目標：栄まるごと感動空間 基本コンセプト：最高の時間と居心地を提供

- ・ **多様な楽しみを満載**
買い物、食事、催事、芸術、遊び、学び、デザイン
- ・ **特別な場所を演出**
美しいまちなみ、豊かな緑、歴情的情景、洗練された建物、くつろぎの場
- ・ **魅力的な情報を発信**
息づく伝統、最新の流行、イベントの開催、多様なサービス
- ・ **全ての来訪者を歓迎**
おもてなしの心、人が中心の施設、満足感の提供、リピーターの獲得



このような栄地区のまちづくりの目標を実現するため、次の3つの方針に沿ってまちづくりをすすめます。

- ・ **方針1 公共空間の再生** にぎわいと魅力にあふれた世界に誇れるシンボル空間の形成
- ・ **方針2 民間再開発の促進** 機能更新が進み活気あふれる都市空間の形成
- ・ **方針3 境界性の充実** 個性を持った多様で魅力的な境界の創出

◆金山駅北地区の整備の考え方

(住宅都市局まちづくり企画部まちづくり企画課)



金山駅北地区を整備し
名古屋駅・栄に続く
新たな拠点をつくります

金山は、名古屋開府から名古屋の発展を支えてきた名古屋城と熱田神宮を結ぶ歴史的な都市軸上に位置しており、まちの発展の一翼を担ってきました。海外との玄関口である中部国際空港（セントレア）と、開業を予定しているリニア中央新幹線の玄関口となる名古屋駅とを結ぶ、これからの人の動線軸上にも位置しており、この2つの軸のクロスポイントとなっている金山の位置づけはより高まり、都市機能の集積など新たな役割を果たすことが大いに期待されています。

●まちづくりのコンセプト

人・文化・芸術とともに育つまち
～にぎわいと感性あふれる交流創造の場づくり～

アスナル金山エリア

交通結節点としてのポテンシャルを活用して商業やオフィス等の都市機能を集積させつつ、オープンスペースの配置により駅とまちをつなぐ空間を形成します

古沢公園・市民会館エリア

まちに開かれた新たな劇場を中心に、劇場と公園・広場をリニューアルし、文化的な魅力あふれる空間を形成します

ウォーカブル空間の形成

シンボル軸をはじめとする道路やオープンスペースなどの都市基盤をウォーカブルな形態へ再編し、居心地の良い歩行者空間を目指します

エリアマネジメントの展開

地域団体や都市再生推進法人等による公共空間の適切な維持管理と利活用により、金山らしい特色あるまちの運営を図ります



◆名古屋市観光戦略

(観光文化交流局観光交流部観光推進課、MICE推進課)



訪日外国人旅行者が急増し、観光及びMICEを取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、本市における交流人口の拡大や都市の活性化を推進していくための観光及びMICE施策の方向性を示すものとして「名古屋市観光戦略」が策定されました。

※MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字としたもので、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

●世界中の人が行き交う交流都市・名古屋へ

・名古屋城の魅力向上

特別史跡名古屋城跡の整備、歴史・文化魅力軸の歴史観光コンテンツの魅力発信、天守閣の木造復元、金シャチ横丁の第二期整備の推進、天守閣閉館中の魅力向上事業 など



・大規模イベントの開催・支援

名古屋まつりの開催、世界コスプレサミットの開催、にっぽんど真ん中祭りの開催 など



・名古屋の文化が集積する観光エリアの魅力向上・発信

名古屋テレビ塔やオアシス21等の栄地区・大須エリアの魅力向上・発信、金山地区・東別院周辺の魅力向上・発信、名古屋市科学館等の伏見地区の魅力向上・発信 など



・新たな名古屋ブランドの磨き上げ

コスプレホストタウンの推進、スポーツツーリズムの推進 など

◆2026アジア競技大会NAGOYAビジョン

(総務局アジア・アジアパラ競技大会推進部アジア・アジアパラ競技大会推進課)



2026年に開催される第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会は、本市が今までに経験したことのない規模の国際総合スポーツ大会です。この大会を一過性のスポーツイベントで終わらせるのではなく、さまざまな分野につなげていくため「2026アジア競技大会NAGOYAビジョン」が策定されました。



■ 中区役所のご案内 ■

中区役所代表番号			052-241-3601	
中保健センター代表番号			052-265-2250	
階	課	主な業務内容	担当	電話番号
2階	市 民 課	出生届、死亡届、婚姻届などの戸籍届等	戸籍担当	052-265-2231
		住所の変更（転入・転出）、住民票の証明書、戸籍の証明書、印鑑の登録・印鑑登録証明書、個人番号カード・電子証明書、特別永住者証明書等	住民記録担当	052-265-2236
	保 険 年 金 課	国民年金の加入・喪失の届、老齢基礎年金・障害基礎年金に関する一部請求手続・相談、国民年金の免除申請等	収納・年金担当	052-265-2241
		保険料（国民健康保険・後期高齢者医療）の納付相談、過誤納金（国民健康保険料・後期高齢者医療保険料）の還付等	収納・年金担当	052-265-2246
		国民健康保険の加入・変更・喪失の届・保険料の計算、高額療養費の支給申請等	保険・福祉医療担当	052-265-2243
4階	民 生 子 ども 課	後期高齢者医療、医療助成（子ども・障害者・ひとり親家庭）、福祉給付金等	保険・福祉医療担当	052-265-2244
		民生・児童福祉、児童福祉法による福祉、子ども会等	民生子ども担当	052-265-2311
		児童虐待防止、子育て支援ネットワーク等	子ども家庭支援担当	052-265-2332
	福 祉 課	生活保護の相談等	生活保護担当	052-265-2313
		敬老手帳・敬老パス、介護保険、戦没者遺族援護、地域包括ケア及び包括的支援の推進等	高齢福祉担当	052-265-2321
		身体・知的・精神障害者（児）等福祉、特定医療費支給申請（難病）等	障害福祉担当	052-265-2322
	保 健 セ ン タ ー	保健環境委員、保健統計等	企画管理担当	052-265-2253
		医療施設の届出・検査・指導等	医療安全担当	052-265-2254
		飲食店などの営業許可、食品衛生相談、犬の登録、犬・猫の飼育相談等	食品衛生・動物愛護担当	052-265-2257
		害虫・住まいの衛生相談、改葬許可、建築物衛生の届出、薬局などの許可、毒物劇物の登録等	住居衛生・業務担当	052-265-2256
		旅館・興行場・公衆浴場の営業許可、理容所・美容所・クリーニング所の届出、住宅宿泊事業の届出等	営業施設指導担当	052-265-2266
		乳幼児健康診査、歯科保健、栄養相談、公害保健等	保健感染症担当	052-265-2261
		予防接種、各種検査（HIV、梅毒）、結核・感染症予防等	保健感染症担当	052-265-2262
		高齢者・母子・難病などに関する相談、訪問指導等	保健看護担当	052-265-2263
		子育てに関する相談、母子健康手帳の交付等	子育て総合相談窓口	052-269-7155
	保 健 予 防 課	こころの健康相談、健康づくり等	精神保健・健康づくり担当	052-265-2264
		健康や健康づくりに関する相談	健康ダイヤル	052-265-2264
		自動車臨時運行許可、住居表示、災害対策、ホール使用申込、愛知県収入証紙の販売等	庶務担当	052-265-2211
5階	総 務 課	地域防災	防災担当	052-265-2207
		各種統計調査、選挙事務等	統計選挙担当	052-265-2217
		区政運営の企画・総合調整、区政運営方針、予算の執行、区民会議、区まちづくり基金、広報なごや等	企画経理担当	052-265-2308
	企 画 経 理 課	地域活動の振興、区政協力委員、市政区政相談、安心・安全で快適なまちづくり等	地域活動推進担当	052-265-2221
		地域の魅力の向上、多文化共生の推進、男女平等参画の推進、人権尊重、広報及び広聴集会等	地域の魅力の向上・多文化共生の推進担当	052-265-2228
		スポーツ事業、文化事業、青少年育成、女性活動促進等	生涯学習・スポーツの推進担当	052-265-2224



中区のシンボルマーク

「中」の文字をデザイン化し飛翔する鳥の姿と縦横に走るストリートイメージし発展する中区を表現したもの

昭和62年(1987年)11月公募により制定



区の花：パンジー



区の木：いちよう

昭和62年(1987年)11月公募により制定

中 区 将 来 ビ ジ ョ ン 2 0 2 8

令 和 6 年 5 月

発行：名古屋市中区區政部企画経理課

〒460-8447 名古屋市中区栄四丁目1番8号

電話：052-265-2308 FAX：052-261-0535

表紙デザイン：広告デザイン専門学校 毛利七瀬



中区公式ウェブサイト



中区公式Facebook



中区公式X(旧Twitter)